

共に学ぶ

学校支援ボランティアセンター (SSVC)

第26号 (年2回発行)

狭山市学校支援ボランティアセンター
〈事務所〉

狭山市狭山台1-21

狭山元気プラザ内A棟3F

☎/Fax 04-2927-1395

E-mail: sayama-ssvc@bd.wakwak.com

電話受付: 月~金曜日午後1時~4時迄

人生100年時代に向けて

狭山市教育委員会 社会教育課 課長 田中 肇夫

平成から令和へ年号が代わり、そして今年、東京2020オリンピック・パラリンピックが開催される記念すべき年です。

こうした中、学校教育の現場においては、4月から新学習指導要領がスタートします。グローバル化や人工知能(AI)などの技術革新が急速に進み、社会が早いスピードで変化していく中で、子どもたちがこれから先、自ら課題を発見し、自ら学び、自ら考え、自ら判断して行動し、よりよい社会や人生を切り拓いていけるよう、小学校から「外国語教育」が導入され、「プログラミング教育」が必修化されるなど新たな学びへと変わっていきます。

社会教育・生涯学習の現場においても、これまでは

60歳で定年になり、その後の余生を過ごすというライフプランが一般的でしたが、長寿化が進み、70歳や80歳になっても働き続ける「人生100年時代」が訪れようとし、学校教育のみならず、生涯にわたり学び続けることが重要になってきます。

学校支援ボランティアとして活躍される皆様におかれましては、子どもから大人まで元気に活躍し続けられる社会、安心して暮らすことができる社会、「持続可能な社会」の構築に向けて、引き続き、お力添えをお願いします。



楽しい 児童・生徒とのふれあいの場



新たな視点で学校支援を思う

SSVCセンター長 諸井 寿夫

グローバル化やAI（人工知能）などの技術革新で急速に変化している社会に対応し、子供たちの学びを支える新しい学習指導要領が今期2020年から実施されます。



未来を担う子供たちが、こうした社会を生き抜き未知の状況にも対応できるためには、思考力、判断力、表現力という三つの柱、つまり、知識を教え込むのではなく、多角的に考えて問題を解決する力が必要とのことです。しかしながら、学校が抱える課題は、複雑化・困難化しており、これを解決するためには、地域ぐるみで情報を共有し、共に知恵を出し合い行動することかと思えます。先日ある小学校を訪問、そして校長室の扉を開けて廊下に出るとその正面の壁に大きく「地域とともに特色ある学校創り・・・」と目に飛び込んできましたが、このことだととても嬉しく思いました。そして、各教室をご案内いただき既にアクティブラーニング的な授業が始まっていることも実感しました。しかし、先生の机の前には、採点をしてもらうための児童の行列、また別の教室では、席で手を挙げて、質問でなく〇を付けてもらうために多くの児童が先生を待っていました。この現実を目の前にする地域支援者がまだまだお手伝いできることが多

くあると思いました。この現実を知ること、つまり三現主義（現場、現物、現実）は、ある企業もとても大事にしていることですが、この教育現場で現実を目の前で知り、肌で感じるが大変必要なことです。従来の学校支援は、学校からのニーズ（要望）による対応がメインでした。

狭山市でも今期より、コミュニティ・スクール（学校運営協議会）の試行が始まり、地域住民が学校運営に参画、従来の待ちの姿勢より提案するスタンスに変化していくことだと思っています。しかし、そのためには、学校の状況、困りごと、課題などをもっと知ることが必要です。その為に例えば、コーディネーターは、職員室に居場所があり、職員会議などに加わることで生息の情報共有ができると思っています。（もちろん、守秘義務などハードルの高いことを承知しています）。職員室の片隅にでも居場所があると先生から、「このようなことは地域の人の協力を頂けないだろうか？」と気楽にお声を掛けいただけることもあるかと思えます。

凡そ400名の登録者人材バンクは、とてもパワフルです。One Team SSVCとして、先駆性をもって「地域と共にある学校を目指して」その存在を更に高めたいと思っています。

さやま市民大学学園祭参加

広報G 樽林 宏芳

第6回さやま市民大学「学園祭」が10月19（土）に開催されました。今回もSSVCの事務所が私たちの展示会場でしたので事務所内の展示替えも合わせてできてよかったです。私は広報「さやま」に掲載さ

れている「市民リレー・私の宝物」のコメントに心打たれて愛読しています。そこで今回の展示のテーマを「私のタカラモノ」と提案させていただきました。展示スペースが限られておりましたので、運営委員皆さんだけに出品をお願いしました。そして、8人のメンバーから「タカラモノとコメント」をいただくことができました。とてもユニークな「タカラモノ」が多く、長い間お付き合いしている人が、こんな素敵な趣味があったのか、こんな勉強もされていたのかなどと初めて知ることが多く驚きました。また、当日は出品者の大半が会場に来ており来場された方からもいろいろな質問をいただき、楽しい会話が弾みました。事務所内のSSVC12年間の歩みや、楽しそうな支援者の写真や、支援内容の実績も見ていただき良いPRが出来ました。



学校支援だより

将来のノーベル賞研究者に

子供は、身に触れるもの見るもの聞くものみな興味を持って成長していきますね。特に遊びでの体験は人格形成の大きな源となります。教室だけでの理科授業では、児童たちに興味を持たせて知識を身に着けさせるのは限度がありますから、実験実技の登場です。多くの小学校の理科授業では、先生が実験をし、それを見せるというかたちをとっていることが多いですね。

先生が行った実験が面白いと、“おーっ”ということになり児童は集中してくれます。そして児童自身が出来れば更に興味を持つわけです。各学校は児童それぞれが理科実験を行えるように設備が設けられていますが、お忙しい先生方は全員が実験を行う準備や跡片付けを行い切れないことがあります。結果、先生自身の実験を見せるだけになってしまうことがありますね。そこでSSVCの登場です。

水富小学校では以前よりSSVCが主に理科室にて理科実験のサポートを行っております。うまくいか

水富小学校理科担当CN 矢野 公正

ない児童に対しては一对一で指導できますし、火を使ったり劇薬を使用したりといった危険を伴う実験については安全を指導しながら細かくサポートしております。科学クラブもあり、教科書にない面白い実験もサポートしています。

理科に興味を持ち、真理探究に没頭したい児童を一人でも多く輩出させていきたいですね。

狭山市から将来ノーベル賞受賞者が出ますように。



生徒に寄り添う中央中学校の支援

2014年度から数学で支援に参加しています。今年度CNになりました。狭山市駅から本川越に向けた電車に乗って直ぐ、右側の車窓から小高い場所に見えるのが中央中学校です。学習支援は、英語と数学の2教科。月曜から金曜日まで、各曜日に対応した支援者が教室に入ります。英語の担当者は5名、数学は6名です。各曜日2～4時限支援者は無理の無い範囲で入



中央中学校CN 酒葉 泰男

っています。数学では、先生方が強調する言葉に着目して、茶レンジスクールや夏季補習の時に使えるよう心がけています。

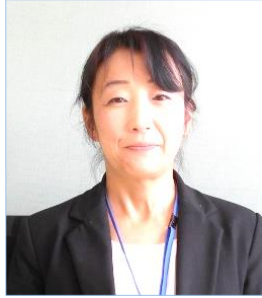
茶レンジスクールは、日曜日の午後1時から3時までの2時間、第二会議室で行われています。多数の一年生が積極的に参加しています。特に野球部員の一年生、二年生が部活の後に頑張って参加している事に感心させられました。学習の途中に休憩時間があり、支援者と生徒たちとのコミュニケーションが深まります。好きな教科や苦手な教科、興味のある事、アレルギーの事、将棋の好きな子などなど。これから成長してゆく若いエネルギーに触れて元気をもらっています。今年度の一年生は一学期から茶レンジスクールの参加を呼び掛けたのが幸いして、多数が参加してくれました。中学生になったという環境の大きな変化に合わせて、茶レンジスクールが案内された事はとても良い効果があったと思っています。

来年度も期待できます。

校長先生 こんにちは 23

共に学び、共に伸びる堀兼中学校

本年4月に、開校73年目という歴史ある堀兼中学校に着任いたしました。本校は、狭山市の北東部に位置し、生徒数399名（令和元年12月現在）、14学級の中規模校です。校区は、新狭山地区と堀兼地区の二つの地区からなり、狭山市の中学校では一番広い学区を持っています。



この地域は、古代の歌に名の残る「堀兼の井」がある堀兼神社や、中世には「鎌倉街道」が通っていた地として歴史と伝統が感じられる地域です。また、学区の中には、武蔵野の面影を残す雑木林や江戸時代に開墾された整然とした農地が、人間と自然との調和を体感させてくれ、校舎から臨む夕日に映える富士山は、一幅の絵のようで、心癒される風景が見られます。本校はこのような恵まれた環境の中で、地域の教育力を生かした学校経営に重点を置いています。新狭山小学校、堀兼小学校との小中連携のほかに、保護者、自治会や公民館、地域会議の皆様の支援をいただきながら「共に学び、共に伸びる生徒の育成」を学校教育目標とし、教育活動を行っています。SSVCの皆様には、日頃より学習支援をし

堀兼中学校 校長 伊藤 真理子

ていただき、たいへんお世話になっています。本校では、1年生の英語と数学に週4学級1時間ずつ、計8時間、4名の方に学習支援をしていただいています。生徒たちは、SSVCの支援員さんが机の横を通ると、とても気軽に質問をしています。授業後に疑問を残さないように、理解できていないことや確認したいことを授業中に解決できることで、生徒たちはとても頼りにしています。基本的な学力も、ここ数年で定着してきました。また、2年生の家庭科の授業でも15名のSSVCの支援員の方に、計24時間ご支援をいただきました。針と糸を使つての縫い物作業を細かいところまで丁寧に教えていただきました。また、夏休み期間中には、5日間にわたるサマースクールを開催しています。本年は、全校で生徒は延べ274名、SSVCの支援員さん延べ121名と、多くの参加者があり、生徒からは、「個人的にわかるまで丁寧に教えていただき、問題が解けたときはうれしかったです。」という感想もありました。

このSSVC事業は、学校支援活動を地域の皆様が主体的・積極的に行っているという点で、先進的な事業として他市の教育関係者の方からも注目され、高い評価を受けています。今後も、学校と地域、人と人を結びつける事業としての活動をお願いいたします。

2019年度各学校担当CN ご紹介

よろしくお願ひします!!

学校名	担当CN	学校名	担当CN
柏原小学校	占部 洋一・覆平 芳恵	御狩場小学校	菅原 秀子
広瀬小学校	小林 希世子	入間野小学校	土屋 富雄
水富小学校	山田 恵一・矢野 公正	南小学校	菅之屋 一郎
笹井小学校	大野 美恵	柏原中学校	高嶋 英夫・山下 茂喜・木村 陽一
入間川小学校	宇田川 正子	西中学校	小泉 純作
入間川東小学校	武田 武夫	入間川中学校	猪股 英行・西 好次
奥富小学校	塩野谷 守夫	中央中学校	早川 真一・酒葉 泰男
新狭山小学校	佐藤 光雄・川田 みな子	狭山台中学校	山田 恵一・中山 洸
狭山台小学校	大竹 五郎・藤森 八重子	堀兼中学校	松永 圭市・庄司 一之
堀兼小学校	庄司 一之・松永 圭市	山王中学校	齊藤 幸男
富士見小学校	近藤 彰男	入間野中学校	角田 栄子・吉川 敏子・沖山 義光
山王小学校	太田 良一		

編集後記：日本中オリンピックモードになっています。各学校の玄関には【あと何日】とカウンタダウンのサインボードがあります。暑い夏での【熱い戦い】が楽しみな令和2年となりました。Y.F